

Course Title 科目名	[Special Topic] International Law Seminar through the prism of a practitioner [特殊講義] 専門演習II			Instructor 担当者	TAKASHIBA, Yukiko 高柴 優貴子		
Semester 学期	Spring	Language of Instruction 使用言語	JAP 日	Credits 単位	2	hrs/wks 時間数/週	2

**【Course Objectives: 授業の到達目標】**

本ゼミでは、将来国際法の知見を用いて海外の人々と様々な案件に取り組めるようになるには今何が必要か共に考え、そこから逆算した種々のトレーニングを行う。  
 専門演習IIの段階では、国際法各種講義で得た知識を将来自立的に用いていく力を身につけるため、国際法が適用される事象の文脈に即して、国際法を自分の言葉で理解する基礎を築くことを目指す。この目的の達成のため、国際法の成り立ちがどのような立場や経緯から形成されてきたのかを理解するのに役立つテキストを用いつつ、様々な課題を通じ国際法の実際の使われ方を理解し、国際社会において不断に交わされている国際法に基づく言説を読み解く力をつけ、自分ならどう使うかを考える訓練を行う。

**【Course Summary: 授業の概要】**

講義科目で習得した国際法の知識や考え方を踏まえ、次の3点を身につける活動を行う：  
**【課題1】**テキストを読み、要約力(各パラグラフの最も重要な点は何かを把握する力)を身につける。(報告及びディスカッション)  
**【課題2】**世界情勢を国際法の視点で読み解く力を身につける。(報告及びディスカッション)  
 また、将来設計のヒントを得るため、適宜実務家を講師に迎えた実践的ワークショップ(Culture of Integrityプログラム)を行う。  
 なお、遠隔授業を行う場合は、オンデマンド・コンテンツに同時双方向テレビ会議システムを組み合わせた型とする。

**【Study Required outside Class (Preparation etc): 事前・事後学習】**

**【課題1】**ゼミ前日までに、テキストの課題部分を各自読解・要約し、洗い出した疑問点(質問表)を書面で提出する。ゼミ生間の事前の相談を推奨する。  
**【課題2】**各自、国際法の観点から最も気になるニュースを取り上げ、口頭で論理的に発表する準備を行う。

**【Class Outline: 授業計画(各回の授業内容)】**

Session 1	オリエンテーション／課題1と2の説明
Session 2	課題1と2
Session 3	課題1と2
Session 4	課題1と2
Session 5	課題1と2
Session 6	課題1と2
Session 7	課題1と2
Session 8	課題1と2
Session 9	課題1と2
Session 10	課題1と2
Session 11	課題1と2
Session 12	課題1と2
Session 13	課題1と2
Session 14	課題1と2

**【Required Textbooks and Course Materials: 教科書(購入必須)】**

Jan Klabbers, International Law, 3rd edition, 2021, Cambridge University Press (最新版)

**【Recommended Textbooks and Course Materials: 参考図書】**

適宜紹介する。

**【Grading Criteria: 成績評価の方法】**

課題の入念な準備(事前提出)、発表内容、ディスカッションへの参加を評価対象とする。

**【Note: 履修上の注意】**

- 1) 普段から国際ニュースに関心を持ち、自分の意見を持つこと。
- 2) 教員と一対一の関係のみならず、ゼミメンバー同士積極的に議論して共に学ぶスタイルを身につけること。
- 3) ゼミへの参加具合により成績評価を行うため、3回以上の欠席は不可とする。